

令和6年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	スタート部門 ※プルダウンから選んでください
------	---------------------------

【1】事前相談について

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談

コーディネーター名	中田
事前相談日時	4月16日
申請可能と言われた日時	5月13日

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※学生・高校生部門は不要です

協働希望課名	福祉健康センター総務課
事前相談日時	5月9日
申請可能と言われた日時	5月9日

※複数回相談した場合、全てご記入ください

【2】応募要件について

該当する部門の応募要件の□内に、○を記載してください。(プルダウンになっています)

該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	
スタート、一般、団体連携	翌年3月31日までに事業を完了できる。	○
学生・高校生部門	翌年2月28日までに事業を完了できる。	
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	○
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	○
一般部門、団体連携部門	昨年度採用されていない事業である。	
一般部門、団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	

【3】申請者について

団体の名称	NPOウェルビーイングライフサポート金沢
団体名称のフリガナ	エヌビーオーウェルビーイングライフサポートカナザワ
代表者	
役職名	代表
氏名（フリガナ）	大畑友紀（オオハタユキ）
団体の所在地	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
構成員	6
（内訳）	（1）市内関係者 6名 （2）その他 名
設立年月日	2024年 2月 2日 （設立 1年目）
設立の目的	支援を受ける側と支援を提供する側双方のための人材育成と場所づくり ①行政だけでなく民間で、生まれる前から思春期までの子育て支援を継続的に受けられる場所づくり ②地域で活動するコメディカルスタッフがチームで、子育て期の家族に対して専門知識の教授やセルフケア技術の伝達等を行う場所づくり
活動概要と団体のPR	「子育て支援をしたくても支援者1人でできる支援は限られている、けれど何か専門知識や技術を生かした活動がしたい」という同じ思いを持ったコメディカルスタッフが集まり、「チームで支援できたら心強いし、可能性は無限になる」という考えの元に、活動することになりました。 病院や自治体での勤務経験があるメンバーや、子育て経験の豊かなメンバーが揃い、職種も保健師・助産師・看護師・薬剤師・理学療法士・臨床心理士などバラエティに富んだコメディカルスタッフとなっています。 県内の大学や各種施設とも連携して、産前から思春期までの子育てを継続的にサポートできる民間団体になることが目標です。 また、携わるコメディカルスタッフが地域で個別の活動もしていけるようバックアップしていくことや、潜在看護職の活動の場を提供することも目指しています。
HP,SNSのURL	HPおよびInstagramでの発信を準備中
担当者連絡先	
役職名	代表
氏名（フリガナ）	大畑友紀（オオハタユキ）
住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
携帯電話番号	

※団体連携部門の場合、当該「【3】申請者」は連携先団体の分も必要であるため、シートをコピーし、シート名を「団体連携先」として記載願います。その場合、記載が必要な部分は「【3】申請者」部分のみです。

【4】企画内容について

列1

提案事業・テーマ	(2) 暮らしづくり
企画のタイトル	産前・産後ケア〈メンタルヘルス・ブロケアクラス〉～頑張らすぎない私になる！～
事業効果	※特に事業の対象者が具体的にどうなるかを以下に記入してください。
現状の地域課題	<p>全国的な調査では、コロナ禍で出産・育児を経験した産婦の約30% (28.7%) が産後うつ状態にあり、コロナ禍以前の割合 (14.4%) に比べても、非常に高い割合であった。友人や医療従事者への相談が思うようにできなかったことが影響していた。</p> <p>金沢市では、コロナ前後でEPDS (エジンバラ式産後うつ病自己評価票: 10項目からなる産後うつ病の簡易的なスクリーニング検査で県内では産婦健診の際に医療機関において100%実施されている) 9点以上の産婦の割合は変化なく、9%前半で推移している。</p> <p>一方、産前から産後3ヶ月まで利用できる金沢市のhug (各福祉健康センターで週に1回実施されている助産師会委託事業) では、定員8名以上の人が集まっている状況もみられている。これは、産前から3ヶ月児健診までの間に、「専門職に相談をしたい」「同じ状況にある人や専門職とつながりたい」という母親たちのニーズの現れであると考えた。</p>
事業の実施により期待される効果	<p>本事業では既存の産後ケアと異なり、対象を産前 (産前8週頃) まで拡大し、産後3ヶ月まで継続的に関わることを目指す。産前は、産後に起こりうる心身の変化を事前を知ることで備えることができ、産後は母親自身の心身の回復が重要であり、かつ乳児に関する様々な悩み (体重増減、皮膚トラブル、生活リズム、授乳、抱っこなど) が生じるため、いろいろな視点 (職種) からのサポートやケアをリアルタイムで受けることで不安の増大を予防し、子育ての選択肢を増やすことにつながる。また、母親のメンタルヘルスに特化した専門職による専門的なケアを受ける機会となることで、母親の精神の安定が促され、育児に前向きに取り組めるようになることが期待される。</p> <p>一つの場所でいろいろな専門職と相談できる場があれば、乳児を抱えて動きの取りづらい時期も相談しやすくなる。更には、専門職が産前からチームで関わることで信頼関係が構築でき、産後の頼れる場が明確になり、多角的・継続的なサポートを受けることも可能となる。</p> <p>二次的な効果としては現在フリーランスや開業として活動しているコメディカルスタッフのつながりの場となり連携しやすくなることも挙げられる。</p>
その他	<p>産前から関わることのリスクとしては流死産・新生児死が挙げられるが、その際にも母親の希望を聞きながら、必要時はグリーフケアの専門家につなげられるよう関係機関と連携をとっている。</p> <p>本事業に参加するスタッフは、地域で開業しているメンバーも含まれているが、今後は同様に地域で活動する看護職や、潜在看護職 (現在看護職として就職していない) の活躍の場の提供にも寄与できると考えている。</p> <p>また、本事業において事業前後のアンケート調査などにより事業評価および事業内容の修正を継続的に行うことで事業のプログラム化を図り、プログラム化したのちは他団体や他自治体でも実施可能となるため、産前産後の母児をサポートする場が増えることが期待される。本団体も継続した事業提供を可能とするため、法人化を目指す。</p>

事業の概要	
<p style="text-align: center;">具体的な実施内容</p> <p>※「誰が」「何を」「いつ」「どのくらい」「どこで」「どのように」実施するのかを具体的に記入してください。</p>	<p>※年間スケジュールシート参照</p> <p>実施日時：講座は各日（金曜）10:00～11:30（各期最終日のみ12:00終了）に実施。 訪問およびzoomは希望日時に30分～1時間程度で実施。 1期：6/28（産前）7月中（訪問かzoom）8/23,9/13,9/27,10/11（産後） 2期：10/25（産前）11月中（訪問かzoom）11/22,12/13,1/10,1/24（産後）</p> <p>実施場所：長土堀青少年交流センタープレイルーム（長町3丁目3-3）</p> <p>実施形態：産前産後の講座はグループ参加、訪問かzoomは個別対応で実施。</p> <p>予定講師：小児科医、理学療法士、開業保健師、開業助産師、臨床心理士</p> <p>参加見込人数：各期8名（訪問実施可能人数を考慮し最大9名まで）</p> <p>実施内容：【産前1回】周産期におけるメンタルの変化を中心に、産後の児との生活について助産師や保健師からの具体例を交えた講話を実施。</p> <p>【訪問かzoom1回】外出のできない新生児期に専門職のかかわりが得られるよう、母親の希望により訪問かzoomで相談を受けられる時間を設定。</p> <p>【産後4回】各回とも講話開始前に、児の体重測定および母親の健康チェックを実施。</p> <p>乳児の心身の発達、スキンケア、抱っここの仕方、メンタルチェックと骨盤ケアを含むセルフケア、母親の自己肯定感などをテーマに講話を実施。グーグルフォームを用いて事前にアンケートを行い、悩みや疑問をシェアしやすくする。</p>

企画内容にかかる注意事項
<p>※単発的なイベントで終わるものではなく、通年的な活動や今後に関わる継続性を考慮した事業を提案してください。</p> <p>※実施方法（予定日時・予定場所・実施形態・予定講師・参加見込数）など出来るだけ具体的に記載ください。</p> <p>別途資料を添付する場合は、A4サイズをお願いします。</p> <p>※既存の事業で応募する場合、工夫や改善した点を明確にしてください。</p>

【5】事業収支予算書

委託費	100,000	円	
収入の部			(単位： 円)
	科目	金額	内訳など
	参加費	24,000	各期8名×¥3,000=¥24,000
	委託料	100,000	金沢市より
	自己資金	34,400	
	計【A】	158400	
支出の部			(単位： 円)
	科目	金額	内訳など
	謝金	50,000	¥5,000×10名分(各期5名分)
	交通費	8,000	訪問交通費・通信費¥500×16件分
	消耗品費	48,000	ヨガマット×16枚や消毒物品など
	保険料	17,600	スタッフ×6名、参加者16名×800
	使用料及び賃借料	9,800	長土堀青少年交流センター ¥980×10
	印刷製本費	25,000	A4ちらし、A3ポスターデザインおよび印刷
	計【B】	158400	

【A】収入合計と【B】支出合計は一致(同額)させてください。